



Benefit one

株式会社ベネフィット・ワン

第22期 第2四半期のご報告

2016年4月1日 ~ 2016年9月30日

2016年度第2四半期決算のポイント

売上高は前年同期比 20.1%増、営業利益は同 65.9%増と好調に推移

売上高 **143.5** 億円

営業利益 **25.2** 億円

総会員数 (2016年9月) **780** 万人

- 福利厚生事業は会員数が順調に拡大
- インセンティブ事業はポイントの付与・交換が進む
- ヘルスケア事業は健診・保健指導の実施数増加

2016年度業績予想のポイント

2桁台成長率での増収増益を目指す

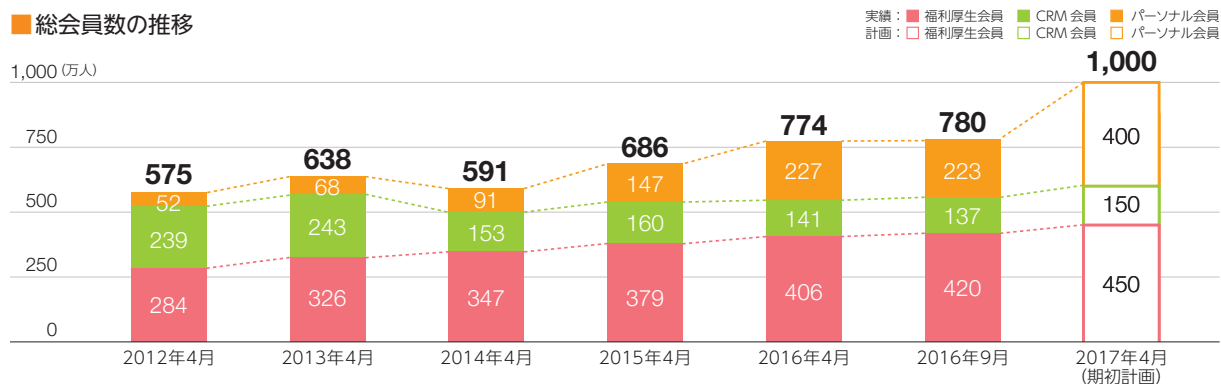
売上高 **302.0** 億円

営業利益 **53.5** 億円

総会員数 (2017年4月) **1,000** 万人

- 中小企業の福利厚生導入拡大
- 個人会員増に向けた複数アライアンスの仕込み
- 次世代サービスの開発促進

■ 総会員数の推移



6月

- 復興支援イベント『東北六魂祭 2016 青森』に参画
- 音楽の力で東北を元気に!音楽イベント『六魂Fes!』に参画
佐藤竹善、Skoop On Somebody、夏川りみ等が出演

2011年仙台市での開催を皮切りに、2012年盛岡市、2013年福島市、2014年山形市、2015年秋田市、そして6県を一巡した今年、東北六魂祭は最終の地、青森市にて開催されました。ベネフィット・ワンは6年連続で協力企業として参画いたしました。当日は、延べ27万人もの方々にご来場いただき、大盛況に終えることができました。



7月

- 福利厚生で「ファッション手当」全国の働く女性を支援!
エアークローゼットと業界初の提携参入
- グローバル資産運用サービス「お金のデザイン」と『個人型確定拠出年金サービス』に参入

2014年に東北六魂祭内の音楽イベントとして、『六魂Fes!』をスタートし、第3回目となる今年も、著名アーティストたちが奏でる音楽を通じて、東北復興に向けての希望と活力をお届けいたしました。



8月

- 企業・健保組合等の「健康づくりに向けたインセンティブ」業務を代行
ベネフィットワン・ヘルスケア『健康ポイント事業』本格展開
- JapanTaxiと協業 福利厚生会員を対象に『タクシー初回利用割引サービス』を提供開始
- 銀聯カード保有の訪日観光客に優待サービス『UnionPay(銀聯)プレミアムサービス』を提供開始

お金のデザインとベネフィット・ワンは、2017年1月の確定拠出年金法改正実施による個人型確定拠出年金の加入対象者拡大を見据え、共同で個人型確定拠出年金事業に参入することで合意し、両社は共同出資で『株式会社MYDC』を設立いたしました。

MYDCは2016年6月の設立以降、準備会社として活動しておりましたが、2016年10月27日付で個人型確定拠出年金の運営管理機関としての登録が完了しております。

ベネフィット・ワンはMYDCとの協業により、ベネフィット・ワンの会員を始め、多くの方々の長期的な資産形成を支える魅力的なサービスの開発・運営を展開してまいります。

販売チャネルの提供

サービスの提供

Benefit one

お金のデザイン

共同出資

MYDC

(株)お金のデザインで培った知見を活かし
個人の最適な資産運用をサポート

全国の企業および健康保険組合・国民健康保険等の保険者に対して、健康活動や健診結果に応じてインセンティブを付与する「健康ポイント事業」のサービス提供を、本格的に開始いたしました。

今後、『健康ポイント』のサービスに加えて、これまで提供している「健診サービス事業」、「特定保健指導事業」、保険者等の健康データを一元管理できるサイト「ハピルス健康ポータル」と組み合わせて提供することで、企業や保険者の健康管理レベルの向上と医療費の適正化に寄与してまいります。

Benefit one
Health care

事業拡大のチャンスを見逃さず 次世代のサービス提供を打ち出し 飛躍的な成長を目指します。

代表取締役社長 白石 徳生

中期経営目標として掲げる総会員数3,000万人の実現に向けて、当期は「BtoB」「BtoC」の2軸で捉えた成長戦略を加速し、新たな取り組みを積極的に打ち出しています。上期の業績は好調に推移し、大幅な増収・増益となりました。ここでは、代表取締役社長 白石徳生へのインタビューにより、今後目指していく方向性と成長戦略をご説明します。



Q 上期を振り返り、
営業状況について総括願います。

**福利厚生事業を中心に、全般的に好調に推移。
計画を大きく上回る増収・増益を達成。**

上期の営業状況は、引き続き企業の人手不足によるアウトソーシングニーズの拡大や、コーポレートガバナンス強化の流れ等を背景に、全般的に極めて好調に推移し、期初の計画を大きく上回る成果を上げました。連結業績は、売上高が前年同期比24.0億円(20.1%)

増の143.5億円に達し、営業利益は同10.0億円(65.9%)増の25.2億円を確保しました。計画に対しては、売上高・営業利益ともに8億円の超過達成となっています。

業績の伸びを牽引したのは、前年同期比33万人増の420万会員を獲得した福利厚生事業です。「ベネフィット・ステーション」のプラットフォームを共用するパーソナル事業とCRM事業を加えた3事業で合計7.7億円の増益貢献となりました。このうちパーソナル事業は、個人

会員の増加が計画を下回りましたが、販売パートナーの新規獲得が複数進行中のため、来期に向けて挽回に期待が持てる状況です。

その他の主力事業では、ヘルスケア事業が健診サービスや特定保健指導の実施件数を増加させ、業務効率の改善を遂げたことで、大幅増収および黒字化を果たしました。またインセンティブ事業は、前期からの積み上げポイントの交換が好調に推移し、さらに新規案件による大型のポイント付与・交換も加わったことから、計画以上の増収・増益となりました。

Q 最近の新たな提携や協業についてお聞かせください。

提供サービスと事業領域の拡大に向けて、提携・協業による取り組みを多角的に展開。

今後につながる業務提携や協業の動きの中で、主なものを挙げますと、まず今年7月、テクノロジーを活用した資産運用サービスを提供する株式会社お金のデザインとの間で、個人型確定拠出年金(個人型DC)事業への共同参入について合意しました。これは、来年1月に予定されている個人型DCの加入対象拡大をビジネスチャンスとして、両社の共同出資による運営管理機関を通じ、新規加入者に運用サービスを提供していくものです。

また10月には、ヤフー株式会社との協業により、かつて提供していた「Yahoo!福利厚生」の内容を全面刷

新し、新サービスとして再開しました。福利厚生サービスの導入拡大が予想される中小企業向けに、ヤフーの月額会員サービス「Yahoo!プレミアム」と「ベネフィット・ステーション」を組み合わせ、従業員の方々に優待サービスやオンラインコンテンツをご利用いただけます。ヤフーでは、電力やインターネット回線等の自社商材と「Yahoo!福利厚生」のセット販売を展開していきます。

そして9月には、シンガポールで福利厚生事業等を展開するRewardz社と資本業務提携しました。同社は、スマートフォンアプリをベースに福利厚生・ヘルスケア・インセンティブの一体型サービスを提供し、シンガポールの他、香港、マレーシア、インドネシア、UAE、オーストラリアに拠点および代理店網を拡げています。当社は、アジア展開の加速とシナジー効果の発揮を見込み、同社との連携を通じて海外事業を強化します。

その他にも、訪日観光客向けサービスやタクシー利用割引サービス等、提携・協業による取り組みを多角的に進めており、提供サービスと事業領域の拡大を図っています。

Q 中期経営目標と成長戦略についてご説明願います。

企業向けに「BPOポータルサイト」を提供。個人向け事業は「サービスの流通創造」を推進。

当社は、2021年4月に向けて総会員数3,000万人を目指す中期経営目標を掲げています。その構成につ

いては、福利厚生会員1,000万人・個人会員2,000万人の割合で計画しており、今後5年間における福利厚生事業の中小企業をターゲットとした伸びしろと、パーソナル事業の販売パートナー強化による成長を前提としています。

中期経営目標の達成に向けた成長戦略として、企業を対象とする「BtoB」の事業展開では、福利厚生、ヘル

スケア、インセンティブを中核サービスとしつつ、企業のニーズに応じて必要なBPOサービスを付加的に選択・追加できるマルチベンダー型の「**BPOポータルサイト**」**CLOSE UP**を提供し、囲い込みを図っていく考えです。

一方、個人を対象とする「BtoC」の事業展開では、ユーザーの購買行動やIT利用の意識変化を捉えた「サービスの流通創造」がカギとなります。グルメ、エンター

CLOSE UP BPOポータルサイト構想

当社は、来春からの導入に向けて、「BPOポータルサイト」の構築を進めています。これは、さまざまなBPOサービスをワンストップソリューションとして提供し、顧客企業の囲い込みを図りながら、サービスの一元化による利便性をもたらすツールです。

タスク管理やスケジュール、インフォメーション、業務用チャットといった基本機能は無償で提供され、有償機能では

福利厚生、ヘルスケア、インセンティブ、出張精算等のBPOサービスをニーズに応じて選択・追加可能。外部ベンダーサービスとの接続も含め、シームレスに利用できます。また、各サービスにおいて付与されるポイントを共通化している点も特長の一つです。

社員のエンゲージメント=つながりを高めるポータルサイトとして、企業にとって大きな利用価値が見込めます。

基本機能例



有償機能



テインメント、ヘルスケア、金融を注力4分野とするコンテンツ強化を推進しつつ、定額課金制サービスの普及やシニア世帯マーケットの拡大、第4次産業革命と呼ばれる技術革新を追い風に、サービスマッチングの仕組みをインフラとしてユーザーに浸透させていきます。

さらに当社は、次の事業展開として会員間の遊休資産の共有・売買をマッチングする「CtoC」モデルや、会員から企業への労働力の提供をマッチングする「CtoB」モデルによる、シェアリングエコノミーに向けたプラットフォームを創造すべく、取り組みを進めていく考えです。

Q 下期の展開と通期業績の見通しをお聞かせください。

次世代サービスの来期導入に向けて鋭意開発。通期業績は期初の増収増益予想を維持。

下期は、「金融ポータルサイト」や「BPOポータルサイト」、「CtoC」モデルのプラットフォームなど、当社の次世代サービスの実現に向け、プロジェクトチームによる開発作業を追い上げていきます。これらのポータルサイトやプラットフォームを構築することで、来期以降は、これまで個別に提供していた各サービスを一体化させ、ユーザビリティの向上につなげていきたいと考えています。

通期の業績予想につきましては、全体の事業環境としては引き続き追い風環境にあるものの、事業ごとの進捗に差があり、パーソナル事業等想定環境に差が出

ている事業もあることから、現時点では期初の予想を変更せず、売上高302.0億円(前期比15.9%増)、営業利益53.5億円(同22.8%増)、経常利益53.5億円(同24.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益35.0億円(同27.9%増)を見込んでいます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

事業拡大の好機を逃さず、的確かつスピーディーな経営判断と実行により、飛躍的な成長へ。

当社は、株主の皆様への利益還元について、純資産配当率を5%以上とすることに加え、配当性向40%台を目標に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としています。本方針に基づき、当期の期末配当は1株当たり43円(前期比9.5円の増配)を予定しています。これにより配当性向は49.6%となる見通しです。

現在の事業環境は、さまざまな面から当社への追い風となっており、一気に事業を拡大していくチャンスであると捉えています。特に、東京オリンピックが開催される2020年まで残り4年間のベストタイミングを逃さず、的確かつスピーディーな経営判断と実行により、飛躍的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、当社事業の将来における発展にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前期末 2016年3月31日現在	当第2四半期末 2016年9月30日現在
資産の部		
流動資産	16,180	15,818
固定資産	5,821	5,835
有形固定資産	1,604	1,548
無形固定資産	1,696	1,584
投資その他の資産	2,521	2,702
資産合計	22,002	21,654
負債の部		
流動負債	9,431	8,609
固定負債	643	750
負債合計	10,074	9,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,527	1,527
資本剰余金	1,467	1,645
利益剰余金	11,813	12,145
自己株式	△3,194	△3,371
株主資本合計	11,614	11,946
その他の包括利益累計額	239	295
非支配株主持分	73	52
純資産合計	11,927	12,294
負債純資産合計	22,002	21,654

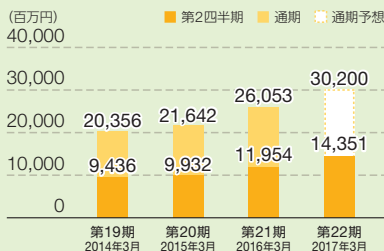
四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

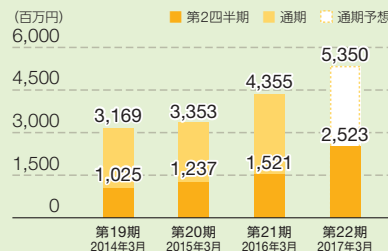
科目	前第2四半期連結累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期連結累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
売上高	11,954	14,351
売上原価	7,388	8,700
売上総利益	4,565	5,651
販売費及び一般管理費	3,043	3,127
営業利益	1,521	2,523
営業外収益	32	31
営業外費用	83	50
経常利益	1,470	2,504
特別利益	4	9
税金等調整前四半期純利益	1,475	2,514
法人税、住民税及び事業税	614	841
法人税等調整額	△44	1
四半期純利益	904	1,671
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	1,684

経営指標の 推移

● 売上高



● 営業利益



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計	当第2四半期連結累計
	2015年4月1日から 2015年9月30日まで	2016年4月1日から 2016年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,213	2,106
投資活動による キャッシュ・フロー	224	△330
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,855	△1,174
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△18	△38
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△436	563
現金及び現金同等物の 期首残高	6,669	8,262
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	178	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,411	8,826

IRに関する詳しい情報は

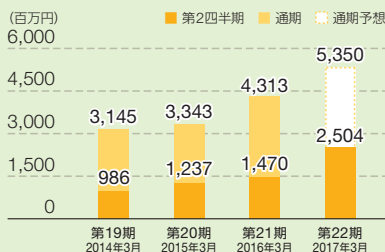
ホームページにて最新の決算短信、
決算説明会資料等を掲載しております。
また、随時IR情報の発信も
行っておりますので、ぜひご覧ください。



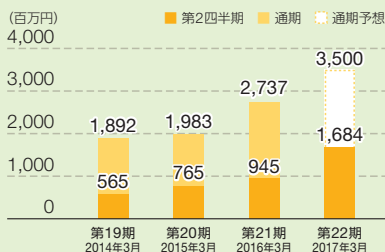
ベネフィット・ワン IR

検索

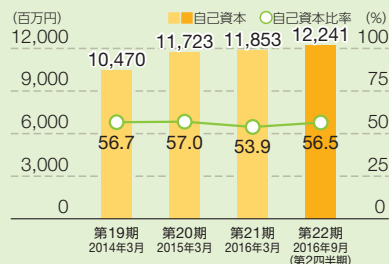
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



● 自己資本/自己資本比率



● 株主様インフォメーション



毎期末の株主名簿に記録された株主の皆様へ、当社商品の福利厚生サービス(宿泊施設・スポーツクラブ・グルメ等の各種サービスが割引料金で利用可能)を提供いたします。

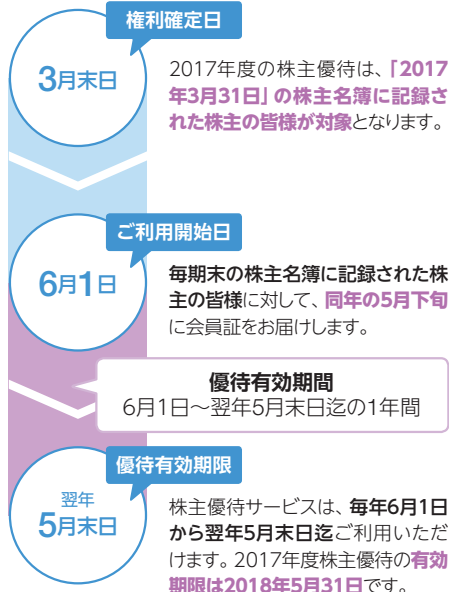


● 保有株式数別優待の内容

100株以上 2,000株未満	ベネフィット・ステーション株主様コースA
2,000株以上	ベネフィット・ステーション株主様コースB

- ※株主様コースBは、宿泊メニューを中心に株主様コースAのサービス内容をより優遇したものです。
- ※会報誌は優待品に含まれません。会報誌の内容につきましては、会員専用サイト(<http://www.benefit-one.co.jp/>)をご参照ください。
- ※株主様コースでは、企業会員向けコースと一部メニューが異なる場合があります。
- ※提携施設および提供サービス内容は予告なく変更する場合があります。

● 2017年度優待の流れ



ログインID・パスワードについてのご案内

ログインIDについて 3パターンのアカウントがございます。

- 1 会員証のカード台紙に記載の会員ID**
※ログインIDは、ハイフンありでも、なしでもログイン可能です。
1 会員ID
123456-789-012345
- 2 ご自身でログイン設定されたメールアドレスもしくはMy KEY**
- 3 ご自身でログイン設定されたYahoo! JAPAN ID、Google ID**
※コンビニ端末で発券する場合は**1**の会員IDと、**1**の会員IDに紐づいたパスワードが必要となります。

パスワードについて 2パターンのパスワードがございます。

※大文字・小文字を識別します。半角でご入力ください。

- A 会員証のカード台紙に記載の初期パスワード(6～8桁)** **A 初期パスワード**
Abcd1234
- B ご自身で変更された半角英数字8桁以上20桁以内のパスワード**
※**1 2 B**それぞれのアカウントでパスワードが異なります。
各アカウントに紐づいたパスワード変更が可能です。

会員証のカード台紙



※ご契約内容によって、会員証のデザイン機能、および会員IDの記載位置、カード台紙のデザインが異なる場合がございます。



ベネフィット・ステーション

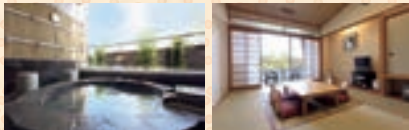
おもてなしの宿

ベネフィット・ステーションが
運営する施設「おもてなしの宿」。
魅力いっぱいのサービスが自慢の
「おもてなしの宿」をピックアップして
ご紹介いたします。

海の幸と寛ぎの湯宿 ●メニューNo.530043

～熱海の高台から
相模湾の絶景に酔いしれる寛ぎの空間～

ベネフィット・ステーション **熱海伊豆山**

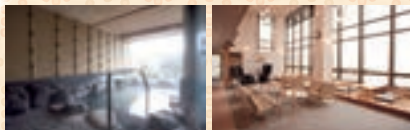


〒413-0001 静岡県熱海市泉411-292
電車 JR東海道本線 熱海駅 →車 約15分
車 東名高速道路 厚木IC →国道135号線 約60分

湯けむりと寛ぎの宿 ●メニューNo.530004

～緑深い箱根の露天で、
思う存分温泉に戯れる～

ベネフィット・ステーション **箱根宮城野**

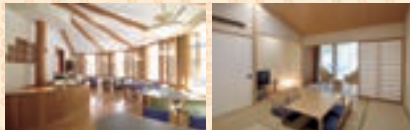


〒250-0401 神奈川県足柄下郡箱根町宮城野20
電車 箱根登山鉄道 強羅駅 →車 約5分
車 小田原厚木道路 小田原西IC →約30分

木漏れ日のホテル ●メニューNo.530044

～鳥の囀りと高原の爽やかな風に誘われ
深呼吸を味わう贅沢な時間～

ベネフィット・ステーション **蓼科の森**

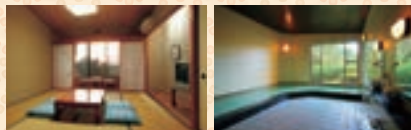


〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽/内古田山7695-519
電車 JR中央本線 茅野駅 →車 約20分
車 中央自動車道 諏訪南IC →約40分

志摩ゆったり寛ぎのホテル ●メニューNo.530165

～太陽と海と大地、豊かな自然に恵まれた
風光明媚な賢島で癒しのひとときを～

ベネフィット・ステーション **賢島**

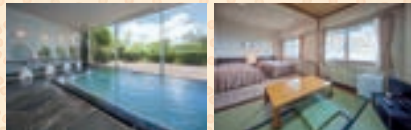


〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明字中田933-2
電車 近鉄志摩線 鵜方駅 →車 約5分
車 伊勢自動車道 伊勢・伊勢西IC →国道167号線 約40分

朝霧と雲海のホテル ●メニューNo.530077

～豊後富士を望む湯布高原の名湯に癒され、
四季折々の味覚を愉しむ～

ベネフィット・ステーション **湯布高原**



〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北
(湯布高原別荘地内) 894-72
電車 JR久大本線 由布院駅 →車 約10分
車 大分自動車道 湯布院IC →約10分

*ご利用料金、施設詳細については会員専用サイト、またはカスタマーセンターにお問合せください。*各施設では、空室確認、ご予約キャンセルは受付おりません。カスタマーセンターにお問合せください。*掲載情報は2016年11月時点のものとなり、予告なく変更となる場合があります。*予約状況によってはお手配できない場合もございますのでご了承ください。

会社概要 (2016年9月30日現在)

会社名 株式会社ベネフィット・ワン
 設立 1996年3月15日
 資本金 15億27百万円
 所在地 〒163-1035
 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号
 新宿パークタワー 35階
 従業員数 1,035名(連結)

役員
 取締役会長 南部靖之
 代表取締役社長 白石徳生
 取締役副社長 鈴木雅子
 取締役 尾崎賢治
 取締役 宮川洋一
 取締役 若本博隆
 取締役 仲瀬裕子
 取締役 上斗米明
 取締役 久保信保
 取締役 桃崎有治
 常勤監査役 加藤佳男
 監査役 中川 惇
 監査役 後藤 健
 監査役 藤池智則

株式情報 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 140,000,000 株
 発行済株式の総数 45,144,000 株 (自己株式 4,689,730株を含む)
 株主数 7,713 名

大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社パナソニックグループ	22,302,600	55.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,625,300	4.02
白石 徳生	1,050,400	2.60
CBNY—GOVERNMENT OF NORWAY	853,100	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	723,500	1.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	689,323	1.70
伊藤忠商事株式会社	613,800	1.52
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST. BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	475,000	1.17
東京海上日動火災保険株式会社	400,000	0.99
株式会社日立製作所	400,000	0.99

※上記のほか、当社が保有している自己株式4,689,730株があります。
 持株比率は、自己株式を控除して算出しています。

株式分布状況



● 株主メモ ●

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 Tel 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告にて当社のホームページに掲載する。
<http://www.benefit-one.co.jp/>
 ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所